

第 51 回 知的財産管理技能検定
3 級 実技試験
管理業務

(はじめに)

すべての問題文の条件設定において、特に断りのない限り、他に特殊な事情がないものとします。また、各問題の選択枝における条件設定は独立したものと考え、同一問題内における他の選択枝には影響しないものとします。

特に日時の指定のない限り、2025年1月1日現在で施行されている法律等に基づいて解答しなさい。

- 1 発明家甲は、自ら思いついた次のアイデア1～2について、特許出願をすることを検討している。

アイデア1 有名料理人による温度調節の方法をデータとして記憶したコンピュータによって自動的に温度を調節して米を炊く炊飯器

アイデア2 人間の胃腸にできたポリープについて切除可能な装置を備える内視鏡

以上を前提として、問1～問4に答えなさい。

問1

アイデア1について、特許を受けることができる発明として、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、選びなさい。

問2

【理由群Ⅰ】の中から、問1において適切又は不適切と判断した理由として、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

【理由群Ⅰ】

- ア 自然法則を利用しておらず、特許法上の「発明」に該当せず特許を受けることはできないため
- イ 特許法上の「発明」に該当し、他の特許要件を具備することにより特許を受けることができるため
- ウ 知識として第三者に伝達できる客観性がなく、特許法上の「発明」に該当せず特許を受けることはできないため

問3

アイデア2について、特許を受けることができる発明として、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、選びなさい。

問4

【理由群Ⅱ】の中から、問3において適切又は不適切と判断した理由として、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

【理由群Ⅱ】

- ア 業として利用できない発明であり、特許法上の「産業上利用できる発明」に該当せず特許を受けることはできないため
- イ 特許法上の「産業上利用できる発明」に該当し、他の特許要件を具備することにより特許を受けることができるため
- ウ 人間を手術、治療、診断するために用いられる発明であり、特許法上の「産業上利用できる発明」に該当せず特許を受けることはできないため

- 2 大学生甲は、自分で録音した音声ファイルA及び音声ファイルBの利用について、大学の著作権法の教授に確認をしようと、発言1～2をしている。

発言1 「先日広場で、電機メーカーX社のイベントがありました。新製品のスピーカーの試聴用にX社が録音した波の音を再生していました。その波の音が気に入ったので、その場でその波の音の再生を録音し、音声ファイルAを作成しました。音声ファイルAを、X社に無断で私のブログに掲載しても問題ありませんよね。」

発言2 「先日あるレストランで食事をしていたところ、ピアニスト乙が生演奏をしていました。その場で乙の生演奏を録音し、音声ファイルBを作成しました。乙が生演奏した楽曲は、19世紀の作曲家であるシューマンによるものです。音声ファイルBを、乙に無断で私のブログに掲載しても問題ありませんよね。」

以上を前提として、問5～問8に答えなさい。

問5

発言1について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を選びなさい。

問6

【理由群Ⅲ】の中から、問5において適切又は不適切と判断した理由として、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

【理由群Ⅲ】

- ア X社の著作隣接権は生じているが、その権利が制限されるため
- イ X社の著作隣接権を侵害するため
- ウ X社には何らの権利も生じないため

問7

発言2について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、選びなさい。

問8

【理由群Ⅳ】の中から、問7において適切又は不適切と判断した理由として、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

【理由群Ⅳ】

- ア 乙には何らの権利も生じないため
- イ 乙の著作隣接権を侵害するため
- ウ 乙の著作権を侵害するため

3 問9～問26に答えなさい。

問9

家電メーカーX社では、形状が独特な掃除ロボットAに係る発明について、特許出願を検討している。ア～ウを比較して、登録される可能性が高い場合として、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 日本国内の業者向けの展示説明会で掃除ロボットAを出展し、当該出展から1年以上経過しているが、一般への正式な発表はまだ行われておらず、販売も開始されていない場合
- イ 掃除ロボットAをインターネットで公表した後に販売を開始し、そのインターネットでの公表からは1年以上経過しているが、販売開始日からは半年しか経過していない場合
- ウ 掃除ロボットAについて自社内の研究所で製品の設計を完成し、試作品を製造した後1年以上経過しているが、発表はまだ行われておらず、販売も開始されていない場合

問10

自動車メーカーX社の知的財産部の部員が、米国における特許権の取得に関して発言している。ア～ウを比較して、最も不適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 「特許協力条約（PCT）による国際出願は日本語で行うことができ、米国に国際出願の移行手続を行う場合に英語の翻訳文を提出する必要はありません。」
- イ 「日本に特許出願してからパリ条約に基づく優先権を主張して米国へ特許出願すると、米国における新規性の判断は日本の特許出願の出願日が基準となります。」
- ウ 「米国特許商標庁に直接特許出願をしなくても、米国で特許権を取得できます。」

問11

自転車メーカーX社の知的財産部の部員が、新商品である自転車Aに係る商標についての商標登録出願を検討している。ア～ウを比較して、部員の考えとして、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 自転車Aの色は赤であるが、自転車Aの色のみから構成される商標は、商標登録の対象とならない。
- イ 自転車Aは、サドルに特徴的な図形が描かれているが、このサドルの特徴的な図形は、商標登録の対象とならない。
- ウ 自転車Aの発売時期が1年後であっても、販売することが確実な場合には、すぐに商標登録出願をすべきである。

問 1 2

甲は日本の銘菓とその歴史に関する資料を作成した。この資料の作成にあたり、友人乙は甲が指示した情報のみを収集し、友人丙は甲の求めに応じて助言のみを行っていた。ア～ウを比較して、この資料の著作者にあたる者として、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 甲のみ
- イ 甲と乙
- ウ 甲と乙と丙

問 1 3

家電メーカーX社はタイマー機能を有する電子レンジAを販売していたところ、Y社から、電子レンジAの販売はタイマー機能に係る特許権Pの侵害である旨の警告書が送付された。X社の知的財産部の部員が警告書の内容について検討している。ア～ウを比較して、部員の考えとして、最も不適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 「特許権Pに係る無効理由の有無について、先行技術文献の調査をしましょう。」
- イ 「電子レンジAは四国地方においてのみ販売されています。一方、Y社の電子レンジは関東地方のみで販売されています。特許権の効力は、特許権者の販売地域にのみ及ぶことから、電子レンジAの販売が特許権Pを侵害する可能性はありません。」
- ウ 「電子レンジAはタイマー機能を有しており、タイマー機能はスイッチで使用を不可にできますが、電子レンジAの販売が特許権Pを侵害する可能性はあります。」

問 1 4

設備機器メーカーX社の知的財産部の部員は、自社の有する冷凍空調機器に係る特許権について、Y社とライセンス契約を結ぶことを検討している。ア～ウを比較して、部員の考えとして、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 独占的通常実施権を許諾するライセンス契約でX社が特許発明を実施できないとの特約がある場合、登録しなければ効力を生じない。
- イ 通常実施権を許諾するライセンス契約の場合、登録しなければ効力を生じない。
- ウ 専用実施権を設定するライセンス契約の場合、登録しなければ効力を生じない。

問 15

ア～ウを比較して、意匠登録の対象に関して、最も不適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 毛抜きのデザインは、美術品のような高尚な美ではなく、使いやすさといった作用効果を目的としているにすぎず、意匠登録の対象とならない。
- イ ロボットは、自動車の生産ライン用のロボットのみならず、自在の動きをする玩具用のロボットについても、工業上利用できる物品として、意匠登録の対象となる。
- ウ 著名な建築家による競技場のデザインは、意匠登録の対象となる。

問 16

画家甲は、東京タワーを描いた絵画Aを展覧会で発表した。絵画Aを見た乙は、甲から絵画Aを購入しすべての著作権の譲渡も受けた。ア～ウを比較して、乙の行為として、問題が発生する可能性が高いものとして、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 絵画Aの一部分の色を変え著作者甲として記載した上で、自己の開設するブログに絵画Aを掲載する行為
- イ 放送事業者X社に、絵画Aをテレビ放送することについて有償で許諾する行為
- ウ 絵画Aの写真を撮り、その写真を販売する行為

問 17

建設会社X社の知的財産部の部員は、既に出願した建設部材に係る発明Aについての特許出願Pに基づいて、発明Aを改良した発明Bについて国内優先権を主張した特許出願Qを検討している。ア～ウを比較して、部員の考えとして、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 特許出願Qについて国内優先権の主張をするためには、特許出願Pの出願日から半年以内に
出願する必要があると考えた。
- イ 特許出願Qにおいて、特許出願Pの出願内容と重複する部分については、特許出願Pの出願
日を基準として、新規性の判断がなされると考えた。
- ウ 特許出願Qが登録された場合の存続期間は、特許出願Pの出願日から20年を経過するまで
と考えた。

問 18

食品メーカーX社は、指定商品である餃子について登録商標Aに係る商標権Mを有している。
ア～ウを比較して、商標権Mに関して、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 登録商標Aを、登録日から3年以上、餃子について使用していない場合には、商標権Mは消滅したものとみなされる。
- イ 商標権Mの存続期間は、設定登録日から5年をもって終了する。
- ウ ライバルメーカーY社は、登録商標Aに類似する商標を餃子について使用することはできない。

問 19

時計メーカーX社は、新規な腕時計である発明Aに係る特許出願Pをスイスに出願し、日本でも特許権を取得したいと考えている。ア～ウを比較して、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 特許出願Pがスイスで特許権の登録がなされると、特許協力条約（PCT）により、日本でも特許権が登録される。
- イ 日本で発明Aについて特許出願Qをした上で、特許出願Qに基づいて、特許協力条約（PCT）による国際出願への出願変更をする。
- ウ 特許出願Pに基づいてパリ条約に基づく優先権を主張して、特許出願Pの出願日から12カ月以内に日本に特許出願をする。

問 20

漫画家甲は、4コマ漫画を創作し、定期的にSNSに投稿している。ある日、甲が創作した4コマ漫画がそのまま乙のSNSに投稿されているのを発見した。甲は、複製権の侵害及び公衆送信権の侵害を理由に、乙への措置を検討している。ア～ウを比較して、甲から乙への措置として、最も不適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 差止請求をする
- イ 損害賠償請求をする
- ウ 名誉回復措置請求をする

問 2 1

文具メーカーX社は、ペンケースAとボールペンBとを製造販売している。X社の知的財産部の部員は、Y社がマーカーペンに係る登録意匠Cについて意匠権を有しているとの情報を営業部から入手し、確認したところ、当該情報は事実であった。ア～ウを比較して、部員の考えとして、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。なお、ボールペンとマーカーペンとは類似する物品であり、ペンケースとマーカーペンとは非類似の物品であるものとする。

- ア 登録意匠Cと同一の形態を、ボールペンBの形態に転用しても、登録意匠Cに係る意匠権の侵害とはならない。
- イ 登録意匠Cと類似する形態を転用したボールペンBを製造販売するために、Y社から登録意匠Cに係る意匠権について、通常実施権の許諾を受ける。
- ウ 登録意匠Cと同一の形態を、ペンケースAの形態に転用すると、登録意匠Cに係る意匠権の侵害となる。

問 2 2

化粧品メーカーX社は商標Aを付した化粧品を製造販売していたところ、競合他社から、同商品の製造販売行為は商標権Mを侵害している旨の警告書が送付された。ア～ウを比較して、X社の知的財産部の部員の考えとして、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 商標Aは化粧品について、現在では普通名称として使用されているので、商標権Mの効力が及ばない旨の反論が可能である。
- イ 商標権Mの存続期間は来月でちょうど10年となるので、わが社が来月まで一時的に商品の製造販売を休止すれば、商標権Mの侵害を回避できる。
- ウ わが社は、商標権Mの出願公開日より前に商品の販売を開始しているので、商標権Mを侵害しない旨の反論が可能である。

問 2 3

電機メーカーX社は、冷蔵庫の発明に係る特許出願に対して拒絶理由通知を受領した。ア～ウを比較して、X社の知的財産部の部員の考えとして、最も不適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 複数の請求項に対して拒絶理由があるので拒絶理由を解消する方策はない。
- イ 意見書により反論することで拒絶理由を解消する。
- ウ 手続補正書により特許請求の範囲を補正して拒絶理由を解消する。

問 2 4

X社は、品種Aについて品種登録を受けた。ア～ウを比較して、X社の担当者の育成者権に関する発言として、最も不適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 「品種Aの育成者権の存続期間は、品種Aの品種登録出願の日から25年間です。」
- イ 「X社は、無断で品種Aの種苗を生産する者に対して、差止めを請求できる場合があります。」
- ウ 「X社は、品種Aの育成者権についてY社に専用利用権を設定することができます。」

問 2 5

ア～ウを比較して、X社の意匠登録出願に関する手続について、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 意匠登録出願に対しては、出願審査の請求をしなければ、審査官による実体審査は行われない。
- イ 意匠登録出願に係る意匠は、物品の形状等に係る創作であり、特許出願への出願変更が認められている。
- ウ 意匠登録出願については、意匠権の設定の登録前に、出願公開される。

問 2 6

ア～ウを比較して、著作権法上、甲の同意又は許諾を得る必要がない乙の行為として、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 甲が描いた漫画の著作者の氏名として、乙が甲の実名を表示して出版する行為
- イ 甲が書いた小説の題号を乙が変更する行為
- ウ 甲が描いた絵画を購入した乙が、当該絵画を公に展示する行為

4 問 27 に答えなさい。

問 27

ベンチャー企業である X 社は、2025 年 5 月 7 日に実用新案登録出願をし、2025 年 6 月 26 日に実用新案登録を受けた。この場合、実用新案権の存続期間の満了日が属するのは西暦何年何月か、記入例に従って算用数字で記入しなさい。

記入例 西暦 2010 年 1 月の場合は、左詰めで「201001」と記入

5 次の会話は、家庭用品メーカーX社の知的財産部の部員甲と部員乙が、商標登録出願の審査に関して会話しているものである。問28～問30に答えなさい。

甲 「わが社の新商品Aの商標Mについて商標登録出願をしたところ、Y社の登録商標Nに類似するとして拒絶理由が通知されました。このような場合の対応策として1があると聞きましたが、どうしたらよいですか。」

乙 「まず、わが社が商標Mの商標登録を受けることについてY社に2必要があります。そして、登録商標Nが使用されている商品等と、商標Mを使用するわが社の新商品Aとが3場合には、商標登録が認められます。」

【語群V】

- ア 混同を生ずるおそれがない
- イ 通知する
- ウ 協議申立制度
- エ 類似しない
- オ 承諾を得る
- カ コンセント制度

問28

【語群V】の中から空欄1に入る語句として最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

問29

【語群V】の中から空欄2に入る語句として最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

問30

【語群V】の中から空欄3に入る語句として最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

【3級実技】

番号 正解

問1 ○

問2 イ

問3 ○

問4 イ

問5 ×

問6 イ

問7 ×

問8 イ

問9 ウ

問10 ア

問11 ウ

問12 ア

問13 イ

問14 ウ

問15 ア

問16 ア

問17 イ

問18 ウ

問19 ウ

問20 ウ

問21 イ

問22 ア

問23 ア

問24 ア

問25 イ

問26 ウ

問27 203505

問28 カ

問29 オ

問30 ア